令和３年度富山県総合防災訓練

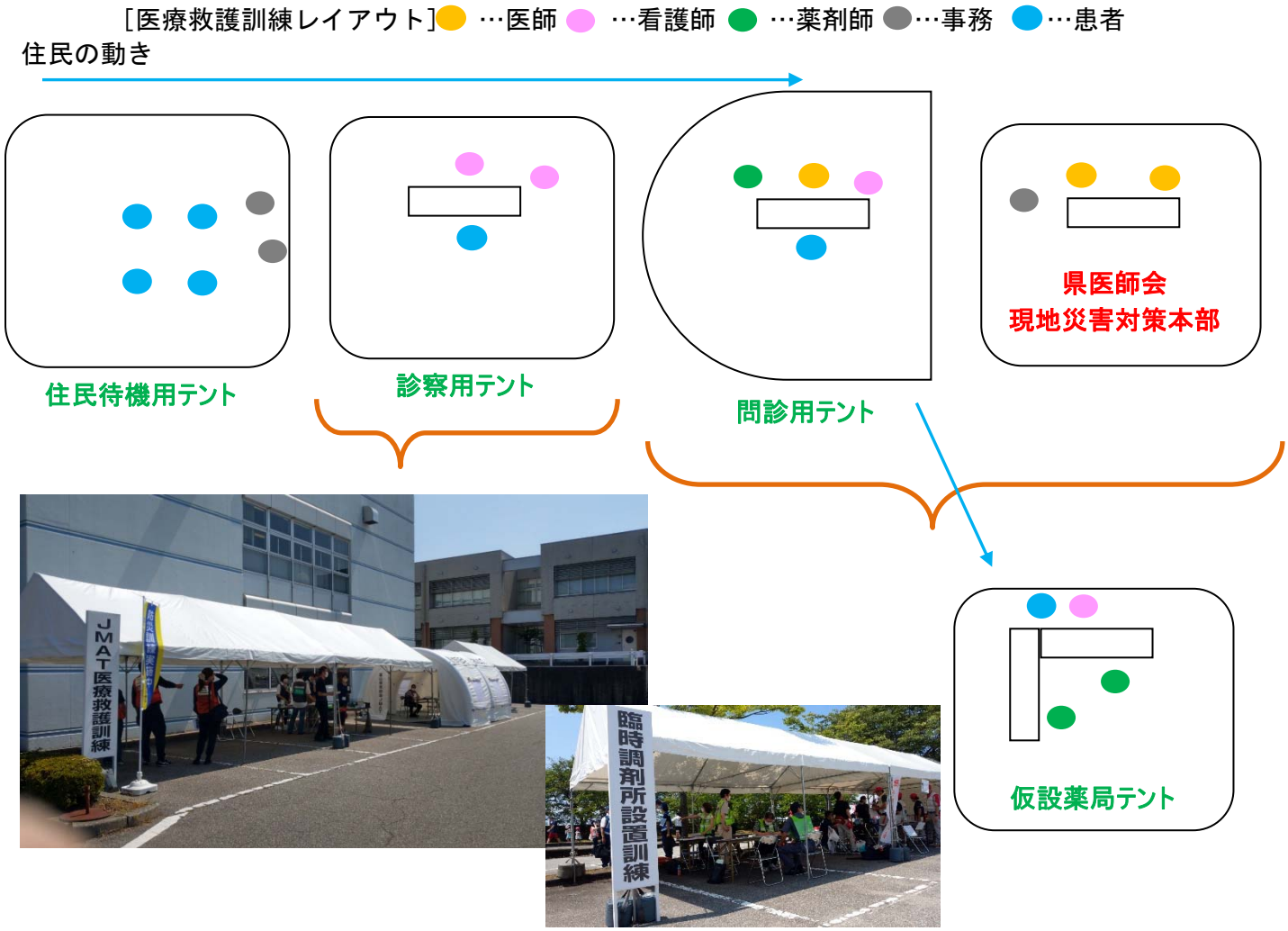
開 催 日	令和３年８月１日（日）
訓練会場	滑川市総合体育センター
参 加 者	村上副会長、南里常任理事、堀地常任理事、道振理事（検案訓練） 滑川市医師会、魚津市医師会、中新川郡医師会 富山県薬剤師会、富山県看護協会

【スケジュール】

集合時間	午前８時 00 分
訓練説明	午前９時 30 分
訓練開始	午前９時 50 分
県知事視察	午前 10 時 50 分頃～11 時頃※合同調整所のみ
訓練終了	午前 11 時頃

【訓練内容・ながれ】

魚津断層帯を震源とする地震発生を受けて、県医務課は県医師会にＪＭＡＴ派遣を要請。県医師会は滑川市医師会にＪＭＡＴ派遣を要請し、滑川市医師会ＪＭＡＴ２班は避難所が設置された滑川市総合体育センターに参集する。避難所に設置された救護所には医療救護を必要とする地域住民が殺到し、先発隊の滑川市医師会ＪＭＡＴだけでは対応しきれず、追加派遣として、魚津市医師会、中新川郡医師会からそれぞれＪＭＡＴが派遣され、ＪＭＡＴと看護協会から災害支援ナース、薬剤師会から薬剤師の方々も参加いただき、医療救護を実施。



①事務が救護所へ来られた患者（役）の方に順番に並んでいただくように誘導する。

②問診用テントで、看護師の方が住民への問診、病歴などの聞き取りを実施。「避難所等における症候群サーベイランス用紙」に記入して住民の方に手渡す。

③看護師の聞き取りから書かれた「避難所等における症候群サーベイランス用紙」及び「災害診療記録」を住民の方が持って診察用テントに入り、住民がゼッケンにつけている傷病名プレートを見ながら医師がトリアージと診察を実施。「災害診療記録」に必要な薬の処方等を記載。住民の方に災害診療記録を渡し、薬剤師会の仮設薬局テントに移動し、薬を処方（富山県災害用医薬品備蓄品リストより）する。

【シナリオ：先発の滑川市医師会ＪＭＡＴがトリアージと診察を実施するが、多くの住民が診察を待ち、対応しきれないため、ＪＭＡＴ統括の南里先生がＪＭＡＴの追加派遣を要請。】

【シナリオ：応援派遣の平野先生（魚津市）、新井先生（中新川郡）が到着し、トリアージと診察を実施。】

【今年度新たに実施した訓練】

【新たな訓練①：県合同調整所への参加
　県医師会災害対策本部より堀地常任理事が県合同調整所に参加。被災状況の把握や JMAT 派遣要請について県医師会現地対策本部に連絡。】

【新たな訓練②：発熱外来の開設
　避難所にて新型コロナウイルス感染症患者を想定した発熱外来を開設。「避難所等における症候群サーベイランス用紙」を用いた看護師の問診と医師による簡易検査の実施】

【新たな訓練③：ＤＭＡＴと連携した患者搬送
　救護所にて救急搬送を要する患者（妊婦）に対して、現地災害対策本部より県合同調整所を介してＤＭＡＴに救急搬送を要請する】

【その他訓練風景】

【訓練全体打合せ：
ＪＭＡＴコマンダー医師 南里先生
による訓練参加者への説明】

【富山県医師会現地災害対策本部】

【閉会式：陸上競技場にて】